

今年度は、「加西市農業の未来について」をテーマとして、行政施策の調査、兵庫県立農業大学校や兵庫県立農林水産技術総合センターの視察、新規就農者へのアンケート調査、営農組合との懇談会を実施し、調査研究を行っています。年内に行政へ提言する予定です。

農林水産技術総合センター

5/13



AI管理によるトマト栽培

5/13

営農組合との懇談会



新規就農を目指す方のイチゴ栽培

4/21

農業大学校



水稻の品種改良栽培

市政を問う!

一般質問

6月10日、13日の本会議では、11名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。(発言順に掲載)
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。

県道三木穴栗線の歩道整備の早期実現を



中右 憲利 議員
(令和新風加西)



問 県では、この区間は通学路でないため事業実施の優先順位は低いとの認識も一部あった。本来この道路は通学路にすべきだが、あまりに危険なため、子供たちは遠回りして通学していると聞いている。その事情を県に考慮してもらいたい。市の認識は。

ますと言ったが、後任の担当者は計画に位置づけられていないから整備予定はないと言う。そうであればもう一度計画に位置づけてもらうべきと思うが、市の考え方は。

問 県道三木穴栗線の西谷交差点から谷交差点区間の歩道整備は、令和5年度までに着手すべきところとして、平成31年度に県の計画に位置づけられたが、整備の予定は。

答 ご指摘のとおり、この区間は路肩があまりに狭く通学路として非常に危険なため、緊急的に通学路を変更している状況です。市としては当該路線を通学路に等しい重要路線と認識し、早期に整備を行い、本来の通学路の機能を回復すべきと考えます。

答 市としても西谷交差点から畑町までの歩道整備が完了してこそ、交差点改良等の投資効果が発揮され安全性が確保されると考えます。また、この区間に関する地元の協力体制が十分であることも認識しています。次回の社会基盤整備プログラムの改訂時には、「現在計画中の西谷交差点から谷交差点の進捗を見ながら、事業化の時期を調整する箇所」と位置づけられるよう取り組みます。

答 県の計画では、実施中の事業及び通学路に優先的に予算を配分し、未実施の当該区間の予算確保は難しい状況です。しかし、市としては加西市通学路交通安全プログラムにおいて整備が必要な区間として明確に位置づけ、地元と一体となって早期完成を目指し、県へ働きかけていきます。

問 西谷交差点から西側の畑町までの区間の歩道整備は、平成26年度に社会基盤整備プログラムに位置づけられたが、平成31年度の改訂で消えていた。当時の県の担当者は、整備していき

■その他の質問項目

- ・ 未来型児童館について
- ・ 加西市の観光全般について
- ・ 北条高校の活性化について